

「日々の理科」(第1999号) 2019, 12, 30

## 「江の島紀行(3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

モノレールも「鉄道」に分類されるが、一番の特徴は「常に高架上を通る」ことである。従って、車窓の風景はとても良い。湘南モノレールの場合、三浦半島の付け根の部分から、相模湾に向かって路線が敷かれているので、ほとんどが丘陵地の住宅街の中を走る。



このあたりも人口密度が高いが、驚いたことに、遠くに富士山が見えた。この日の天気予報はあまり良くなかったため富士山は期待していなかったのだ。富士山の右側には丹沢山塊もよく見えた。



大船駅から、終点の湘南江の島駅まではわずか14分で着く。全線が「単線」で、文字通りモノレールなのだが、駅だけはすれ違いができるように複線になっている。湘南江の島の駅名表示には、江の島の絵が描かれていて楽しい。



さすがはモノレールの駅で、ホームは駅舎の4階にある。改札を出ると「展望テラス」になっていて、富士山を遠望できる。かなり広いので、絵を描くのが好きな子どもはここでスケッチを楽しめそうだ。



モノレールの駅のすぐそばに、江ノ電の「江ノ島駅」がある。駅の脇には、ポイント上にある珍しい踏切がある。電車はゆっくり進入してきた。



江ノ島駅は山小屋のような作りで、描いて楽しい。江ノ電グッズのお店が併設されていて、クッキーや駅名マスキングテープを「爆買い」してしまった。